

学校番号 15

千葉県立幕張総合高等学校 全日制の課程 総合学科

1 期待する生徒像

本校を志願する理由が明確であり、学習や部活動等に積極的に取り組んだ実績を有し、本校において意欲的に取り組むことのできる生徒。

さらに、現代社会に目を向け、自己成長に努め、的確な進路目標を定めて、主体的、かつ継続的に学ぶ熱意のある生徒。

また、自分の考えを発表できる能力を持ち、本校生徒として自信と誇りを持って、学校生活を続けることができる生徒。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	評価者2名の個人面接 検査時間：3分程度
(4) 志願理由書	志願者の直筆による「志願の理由」及び「自己アピール」

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

アの数値を「調査書の得点A」とする。

アの数値に、エについて加点（上限50点）したものを「調査書の得点B」とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 特別活動の記録	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。
エ 部活動の記録及び特記事項	各種活動で著しい活動実績が認められ、千葉県教育委員会などが行う顕彰等（※）を受賞した場合は、加点する。ただし、別表にあげる種目等については、その活動実績についても加点する。 ※「千葉県議会児童・生徒表彰」、千葉県教育委員会の「千葉県体育・スポーツ功労者等顕彰（優秀スポーツ選手）」・「教育奨励賞」
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接〔20点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、ア・イについては、a（優れている）・b（標準的である）・c（標準に達していない）の3段階で、ウについては、a（問題がない）・b（問題がある）の2段階で評価する。

アについては、aを5点、bを2点、cを1点、イについては、aを3点、bを2点、cを1点、ウについては、aを2点、bを1点とし、2名の評価者の評価（各10点満点）を合計し、得点化する。

ウについて評価bの場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機と高校生生活への意欲	本校を志望する動機が明確である。 自分自身のこれまでの実績と関連付けて、本校入学後の目標や取り組み方を具体的に話すことができる。
イ 質問に対する応答	質問事項を的確に理解し、わかりやすく適切に回答することができる。
ウ 身だしなみ・態度	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 基本的な面接作法が身に付いている。

(4) 志願理由書

評価項目	評価基準
ア 志願理由	本校を志願する理由を確認し、総合的に判定する際の参考とする。
イ 自己アピール	特に優れた内容等を確認し、総合的に判定する際の参考とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

ア 「学力検査の成績」と「調査書の得点A」の合計により順位をつけたとき、次のパーセント以内にある者は、入学許可候補者として内定する。

(ア) 受検者が予定人員以内のときは、受検者数の70パーセント

(イ) 受検者数が予定人員を超えるときは、予定人員の70パーセント

ただし、調査書の教科の学習の記録、出欠の記録及び第2日の検査（面接）の結果等に問題となる点がないこと。

イ 上記アで決まらなかった者については、「学力検査の成績」と「調査書の得点B」の合計に「第2日の検査（面接）の得点」を加えた「総得点」で順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員まで入学許可候補者として内定する。

〈総得点の満点の内訳〉

学力検査の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定（算式1）	加点	面接	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	50点	20点	$(705 + \alpha - m)$ 点

（算式1） α ：県が定める評定合計の標準値95

m ：中学校評定合計平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面談を行う。

別表

種目等	活動実績
シンフォニックオーケストラ	管弦打楽器による演奏コンクール等で、個人・団体が極めて優秀な成績を収めた者、及びそれと同水準の者
合唱	各種合唱コンクールで、関東大会出場以上（NHKは県入賞以上）の成績を収めた者
将棋	県大会で県トップクラスの成績を収めた者 高段の棋力を持つ者
書道	全日本書初め大覧会または県小・中・高校席書大会、書初め覧会で本選出場し、個人入賞した者 全国コンクールで上位入賞した者
女子ソフトテニス	県中体連主催のソフトテニス県大会で個人戦上位に進出した者
女子ソフトボール	県選抜選手
男子ハンドボール	県選抜選手、及びそれに準ずる力量を有する者
女子ハンドボール	県選抜選手、及びそれに準ずる力量を有する者
男子剣道	地区連盟対抗選抜選手
女子剣道	県大会団体・個人戦でベスト8以上の者
男子ラグビー	ジュニア強化選手、及びそれに準ずる力量を有する者
男子柔道	県強化選手選考会出場選手 県大会団体・個人戦でベスト8以上の者
女子柔道	県強化選手 県大会団体・個人戦でベスト8以上の者
男子陸上競技	県強化選手 県大会上位入賞の力量を有する者
女子陸上競技	県強化選手 県大会入賞の力量を有する者
男子硬式テニス	各都道府県のテニス協会または中体連が主催する、グレード3以上の大会の本戦以上に出場した者
女子硬式テニス	
男子卓球	県強化選手、及びそれに準ずる力量を有する者
女子卓球	中体連または県卓連主催の県大会で上位に進出した者
男子サッカー	県選抜選手 中体連やクラブの大会で上位に進出した者
女子サッカー	県選抜選手、及びそれに準ずる力量を有する者 中体連または協会主催の全国大会以上に出場した者
野球	県選抜選手以上の者、県準優勝以上の成績を収めた者（硬式・軟式を問わない）
男子水球	水球競技で関東・全国で活躍した者
女子水球	競泳競技で県内大会上位以上の成績を収めた者
男子バスケットボール	ジュニア強化選手、及びそれに準ずる力量を有する者
女子バスケットボール	県選抜選手、及びそれに準ずる力量を有する者
男子バレーボール	県選抜選手、最終選考に残った者、及び県大会ベスト4以上の者
女子バレーボール	ジュニア強化選手、及びそれに準ずる力量を有する者 県大会ベスト4以上の成績を収めた者
スポーツライミング	県ジュニア強化指定選手、県大会で入賞した者 関東大会・全国大会出場者
弓道	団体競技で県外大会へ出場した選手
各種検定等	実用英語技能検定2級相当以上を取得した者 英語スピーチコンテスト県大会で優勝した者 県児童生徒科学作品展知事賞・県教育長賞を受賞した者